



# 実績報告書

## 1. 事業概要

事業実施者	代表団体名	日本ユニシス株式会社		
	代表者名	平岡 昭良 代表取締役 CEO CHO		
	実施責任者	中沢亮太	電話番号	050-3132-7488
			Eメール	ryota.nakazawa@unisys.co.jp
事業名	実証プロジェクト補助金（新潟市実証実験プロジェクト事業） 新潟市の公共交通および地域経済活性化のためのデマンド交通実証事業			
事業内容	<p>概要：新潟市中心市街地（しも町エリア）において、AI オンデマンドバスの実証実験を R1 年度および R2 年度に実施した。</p> <p>※AI オンデマンドバス：従来の定時定路線型の路線バスではなく、利用者の予約に対して AI による最適な運行ルート、配車をリアルタイムに行う乗合輸送サービス。</p> <p>目的：公共交通利便性を高めてまち中への流入を促し、都心部の賑わいを復活（当該地域経済の活性化）させていく。</p> <p>実施地域：R1 年度はしも町～古町エリア、R2 年度はしも町～古町～新潟大学病院・市役所エリアで実施。</p> <p>運行：新潟交通株式会社。</p> <p>予約方法：スマートフォンおよび電話（コールセンター）。</p> <p>停留所：該当エリアにおける既存バス停の他、新規バス停を追加してデマンドバス停留所とし、高齢利用者の利便性を高めた。</p>			
				
	実際の運行		デマンドバス停留所	
新規性・革新性	既存バス路線が存在する中心市街地において、路線バスを補完/代替する移動手段として AI オンデマンドバスを運行していく。			
実証方法	デマンドバス周知のための無償試験運行期間を経て、有償（運賃 210 円）での実証運行を実施。 ※R1 年度は 1 か月間、R2 年度は 3 か月間			
達成目標	オンデマンドバス実証期間中の平均乗車人数 60 人/日（1800 人/月）			

## 2. 実証実施内容

目標に対する成果	R1 年度および R2 年度実証実験ともにコロナ禍での実施となった。しも町オンデマンドバスの想定利用者が高齢者のため、コロナ禍状況における移動抑制の傾向が特に強かったと考えられる。R1 実証実験は平均乗車人数が 3.6 人/日、R2 実証実験の平均乗車人数が劇的に改善しても 15.1 人と目標値の 60 人/日にはいずれも遠く届くことができなかった。		
実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R1 年度実証実験 2020 年 2 月 25 日～3 月 31 日（1 か月）</li> <li>・ R2 年度実証実験 2020 年 12 月 1 日～2021 年 2 月 26 日（3 ヶ月）</li> </ul> ※R1R2 ともに土日祝日は未稼働		
実証結果		R1 年度	R2 年度
	成立乗車実績	75 件	675 件
	ユニークユーザー数	23 人	102 人
	利用者数	111 人	863 人
	平均利用者数	4.4 人/日	15.1 人/日
	スマホ予約率	65.2%	52.9%
	リピート率	60.9%	64.7%
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果 R1 年度実証実験より R2 年度実証実験の方が、成立乗車実績が 9 倍・ユニークユーザー数が 4.4 倍・利用者数が 7.8 倍・平均乗車人数が 3.4 倍と大幅に改善した。実施期間が R1 実証実験から R2 実証実験で 3 倍になったが、期間の違いを差し引いても、R2 の実証実験の方がより多数の住民に利用頂いていることになる。コロナ禍による影響はあったものの、日常の移動手段として広く認知して頂くためには、相応の期間が必要であったと考える。オンデマンドの仕組みを理解し、日常の移動手段として活用してくれる利用者が明確に増えてきていた事は実証の成果として認識される。</li> <li>課題 日常の移動手段として多くの利用者に認知頂くためには、更に継続した実証取組みが必要と考える。その際、地道なプロモーションは勿論だが、MaaS との連携やエリア拡大等利用者利便性を高める新たな施策の検討も併せて検討していきたい。</li> </ul>		
今後の展開	課題を踏まえた上で R3 年度中に再度実証実験を実施し、本格運行に向けた活動を推進していく。		